

(公財)ヒロシマ平和創造基金『ヒロシマピースグラント』の助成事業

～日系3世の監督がヒロシマ・ナガサキの真実を描く～



ドキュメンタリー映画

# 「ヒロシマナガサキ」上映会と

## 渡部朋子さんのお話会

【日時】2021年12月11日(土)13:30～16:00(13:00開場)

【場所】合人社ウェンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)  
北棟6階マルチメディアスタジオ(広島市中区袋町6番36号)

【参加費】無料

【定員】50人(要申込)※先着順で定員になり次第、締め切りとします。

【申込方法】次の①か②の方法で申し込んでください(裏面参照)

①メールで申込。

keisho-suru-kai@ab.auone-net.jp (被爆体験を継承する会)

②裏の申込書に記入してFAXする。

FAX番号は 082-545-3838

(合人社ウェンディひと・まちプラザ <まちづくり市民交流プラザ>)

【お問合せ】090-7500-1107(被爆体験を継承する会)



### 「ヒロシマナガサキ」の内容

アメリカ在住の日系3世のドキュメンタリー作家、スティーブン・オカザキ監督が、25年の歳月の末に完成させた原爆投下を巡る真実の姿を明らかにする渾身のドキュメンタリー映画。中沢啓治氏の『はだしのゲン』(英訳)を読み広島、長崎の原爆投下に関心を持ったオカザキ監督は、1981年に初めて広島を訪れて以来、500人以上の被爆者に会い、丹念な取材を重ねてきた。それをもとに本作では、14人の被爆者と、実際に爆撃に関与した4人のアメリカ人の証言を軸に、貴重な映像や資料を織り交ぜ、ヒロシマ・ナガサキの真実の姿を分かりやすく描き出していく。

(原題: White Light, Black Rain)

### オカザキ監督:

1952年ロサンゼルス生まれの日系3世。アメリカでは原爆投下が「戦争を早期に終わらせ、日米両国民の命を救った」との認識が強い。オカザキ監督はヒロシマ・ナガサキの事実を伝え、核の脅威を世界に知らしめることを自分の役目と考えるようになる。本作以外に、体内被曝の現実にも迫った中編「マッシュルーム・クラブ」他多数の作品がある。



### 渡部朋子さん

広島市出身で、この映画の製作に携わった。NPO法人ANT-Hiroshima(1989年発足)の代表として、広島から平和を伝えるとともに、広島市民や子どもたち、広島を訪れる海外の研修生などを対象として、国際理解や平和教育の実践に取り組んでいる。



●お願い: 新型コロナウイルス感染症予防として、消毒・検温・換気等しますが、「マスク着用」「会話はできるだけ抑える」などのご協力よろしくお願いします。また、体調の悪い方や熱のある方は参加ご遠慮ください。

主催: 被爆体験を継承する会

後援: 広島市、(公財)広島平和文化センター、(公財)広島市文化財団、  
広島県教育委員会、広島市教育委員会、中国新聞社

# 「ヒロシマナガサキ」上映会と 渡部朋子さんのお話会申込書

☆申込は、11月25日（木）10：00からお願いします。

☆先着順で定員になり次第、締め切りとします。

## ①メールによる申込

メール

件名：「ヒロシマナガサキ上映会と渡部朋子さんのお話会」申込

本文：お名前・フリガナ・お電話番号

送付先：[keisho-suru-kai@ab.auone-net.jp](mailto:keisho-suru-kai@ab.auone-net.jp)（被爆体験を継承する会）

## ②FAXによる申込

お名前	フリガナ
お電話	
Eメール	

送付先：FAX **082-545-3838**（合人社ウエンディひと・まちプラザ〈まちづくり市民交流プラザ〉）

★いただいた個人情報は今回のお話会の案内に限り使用させていただきます。

★アドレスは間違いのないように入力ください。迷惑メールなどの設定でこちらからのメールが届かない場合は、ご参加いただけません。